

会報12月号



湖歩

2012

第16号

野洲市北野

1-13-10

鈴木マンション

1F

TEL&FAX

077-587-6159

滋賀県

ウォーキング協会

祝



感動につつまれて..

二十周年記念式典を終えて

会長 志村 里士

10月28日、守山のライズウィル都賀山において「滋賀県ウォーキング協会設立20周年記念式典」を挙行し、91名の参加を得て無事に終えることができました。

これもひとえにご参加下さった会員の皆さん、遠方より駆けつけていただきました。「来賓のみならず、そして当日までの準備はもちろんのこと式典運営を立派にやり遂げていただきました役員のみなさんのおかげです。紙面をお借りして、厚くお礼申し上げます。式典の挨拶のなかでも申し上げましたとおり、今日の滋賀県

ウォーキング協会がこうして20年を迎えられますのも、先輩諸兄の努力の賜物であります。おひとりお一人に感謝の「挨拶をさせていだきたい」と思っており、この気持ちをもち、今後の運営にあたって参りたいと念じております。設立にあたっての苦労は「湖歩20年」の紙面にありますように、産みの苦しみであったと思います。また、その後を受け継ぎ協会の運営を立派に果たされた中川元会長をはじめ当時の役員の皆様への苦労はいかばかりであったかと

の想いを新たにしています。また会場で懐かしい諸先輩方のお顔を拝見することができました。これは大変うれしいことでありました。そして今日、ウォーキングは社会に受けいられ普及し、健康を望む多くの人が朝早くから実践されています。1回歩いてみたらウォーキングの楽しさにはまったという声も多く聞かれます。一方、依然としてウォーキングのことを知らない、楽しさを知らない人たちも多いのが現状です。一人でも多くの人が毎日歩くことを生活習慣にし、健康で長生きできるように願っています。ささやかではありますが、しかし確実に健康につながるウォーキ

グの普及、啓蒙に今後とも取り組んでいきたいと願っています。次の新たなページを開くべく会員の皆さんと一緒に歩いていきたいと念じています。今日も明日も歩きましょう。

（8月例会・二つ目の投稿） 多賀河内の風穴を訪ねて

会員 大阪府高槻市 下見 裕一

まだ残暑の厳しい8月25日(土)に、鈴鹿山脈のふもとにたたずむ秘境「河内の風穴」を訪ねました。河内の風穴は滋賀県内の中で、以前から訪ねてみたかった場所の一つであり、今回は、念願がなつて「初入洞」をはたすことができました。さて、当日は、彦根まで2班に分かれてバスで栗栖へ移動しました。栗栖でバスを降りると「あ、涼しい」と彦根駅との気温の違いにホッとしました。

この栗栖から山に挟まれた川沿いの緩やかな上り坂を、やや早いペースで歩きました。約1時間ほど

歩いて、河内の風穴の料金所に到着しました。

「ここから急な上り階段を駆け上がって、いよいよ風穴の入り口までやって来る」と、自然の冷気の風が吹いており風穴に入る期待感が高まりました。

風穴の中は、石灰岩の地質であることは、あまり実感できなかったものの、これだけ大きな空洞が長い時間をかけて出来上がったことこそ自然の力の凄さを感じました。

また、もしかしたら、鈴鹿山脈の中を通って三重県側に行けるかもしれないと思つてロマンを感じずに居られませんでした。

その後、昼食休憩をはさみ来た道を引返して「フュージ」地点の 多賀大社駅として、午後からの「お楽しみ」であるキリンビール滋賀工場を目指してやや早歩きで歩きましたが午後からは非常暑く早く冷たいものを飲みたい気分です歩いていました。

多賀大社駅で一旦解散した後、希望者で10分ほど歩いて「ビール滋賀工場」に到着し案内係の女性のテキパキした説明を聞きながら工場内を見学した

後、いよいよお待ちかねの試飲タイムです。試飲タイムで頂いた「キリン」番搾り「は暑い中歩いてきたので、工場で搾りたてであるのが相まって、ビールとは違う、非常に爽やかな喉越しを味わうことができました。疲れも吹き飛ばし、至福のひとときを過ごすことができました。

最後に、8月暑い時期であったにもかかわらず、今回の「この涼」をプレゼントして下さった湖東支部の「担当」の方々に感謝いたします。ありがとうございました。

先15号の紙面の関係で記載が遅くなりましたことをご承知ください。担当 堀野

友と話に	暑さ忘れ	道進む	早起きに	息清々し	秋を歩く	湖南支部 (草津)
ススキ穂の	揺れに誘われ	早歩き	前歩く	友の上着が	長袖に	飯田 栄治

2012 (高島駅から志賀駅)

琵琶湖一周健康ウォーキング⑥

湖西支部 横井 俊和

9月30日(日)琵琶湖一周ウォーキングは、大型台風17号が本州・近畿以北を縦断する恐れの中、百名の琵琶湖戦士が参加して決行された。

スタートの近江高島駅では、参加者それぞれは予想される暴風雨に備えて完全防備に余念がなかった。

スタート直後、浅井3姉妹のお初が京極高次の正室として新婚生活を送った大溝城跡を横に見ながらこの女池に架かる木橋を渡る。続いて琵琶湖の眺望が絶景である打下(うちおろし)を通過したが、あいにく対岸の山並みは曇って伊吹山等は眺めることが出来なかった。

長寿の神様で滋賀県最古の「日鬘神社」においてトイレ休憩となったが、この頃から雨足が強くなり、見学も疎かに雨宿り休憩と相成る。北小松などの道中では大半を琵琶湖の湖岸付近を歩くが湖岸に大きなうねりが打ち寄せる程、悪天候となって

琵琶湖北湖・比良山系の風光明媚な景色は眺められず、残念至極であった。昼食は、近江舞子駅近辺の高架下などで雨をさけながらの昼食となる。その後も風雨は強まり、湖西線が止まることも予想されたので、予定よりも歩行スピードを速めた結果志賀駅に14時30分頃到着する。

参加者としては大変な1日であったがされどこれもウォークである。ちなみに、湖西線の堅田駅以北は16時頃から暴風のため運転中止となったようである。

なにはともあれ、今後とも健康のパロメーターとしてウォーク愛し歩ける現状・天下の公道を歩かしてもらうことに日々感謝しつつトークを交わしながら楽しいウォークを継続していきたいと念願している今日の1日1日の頃である。

お知らせ

9月30日の琵琶湖一周ウォーク⑥の追加ウォークが次のとおり行われます。

集合日時・12月16日

9時30分

集合場所・JR 高島駅

(10月例会) 県外編

初秋の保津峡から

嵯峨野を巡り金閣寺まで

湖西支部 桑田 剛吉

10月14日気持ち良く晴れた秋空のもと、JR山陰本線保津峡駅には、おそらく記録的な数の乗客が降り立ち駅前広場狭しとの盛会のなか出発式が始まった例会ウォーク。

ウォーキングマナーと山火事予防の注意の後は手足が充分に伸ばせない準備体操をすませて出発。

細い山道で時々通る自動車、2輪車に気を遣いながら一列縦隊で、前から後ろから声を掛け合いながらの歩行でした。

2月前の大雨、洪水に下る土砂崩れの跡がいまだに残る路肩に気を遣いながらアップダウン、六丁峠では大学生らしきグループに拍手で励まされて下り坂に「ほっ」としながらあだしの念仏寺の脇からトイレ休憩の清涼寺に着くと、ここまで約一時間。大覚寺の前を経て厚敷広場の広沢池公園には12時45分着。

約45分間の昼休み、午後の道はほとんどが歩道でありそれでもやっぱり一列で歩行して半分以上が緩やかな登り坂です。宇多野から御室仁和寺、龍安寺ときぬがけの道を歩いて金閣寺に14時30分とますます予定通りに終えることが出来ました。今回の例会には京都、大阪方面からの参加者も多く、数名のウォーカーが一列で、歩いたにもかかわらず「トップ」とアンカー時間差も短く、それ違つた方には集団と見えたようでした。参加者の皆様、スタッフの皆様感謝しつつ家路つきました。

琵琶湖一周健康ウォーキング⑧

紅葉が美しいウォーキング日和

本部 馬場 敏雄

11月18日(日)琵琶湖健康ウォーキング(比叡山坂本駅から瀬田駅)21キが開催されました。

前日の雨も晴れあがり良い天気になりましたが肌寒い朝に比叡山坂本駅前の石積郷公園には142人の

ウォーカーが集まり、午前9時35分から出発式、9時45分、比叡山に向かつて出発。京阪坂本駅前の観光協会で「フイチマップ」のスタンプを押して坂本4丁目の信号から鶴喜そば本店前を南進、唐崎の1号線ハイパス西側の側道から滋賀里三ッ浦北手前を琵琶湖に下り、畔道を通り高砂公園でトイレ休憩と列話めを行う。南滋賀里から近江神宮に入ると神宮内の木立が紅葉し落ち葉の上を歩く音でウォーカーの足も軽くなつた。皇子山公園に入ると赤く色付いた紅葉の木が並び写真を撮るウォーカーも大勢居られ疲れが一時的になつたようでした。

浜大津港では日当たりが良く風も無い穏やかな天候のため芝生の上での昼食を摂り、本日二つ目の「フイチマップ」印を押し琵琶湖や比叡山の山々を眺めながら、なぎさ公園から膳所公園に向かつて歩き、晴風の黄色く色づいたメタセコイヤの並木と琵琶湖の湖岸で気持ちよく浮かんでいるカモメなど水鳥を眺めながら

ら瀬田の唐橋へ、唐橋を渡ると瀬田川の対岸には紅葉した木立が水面に映り写真だけで無く写生をしておられる人も沢山、出会いました。

瀬田大橋の国道1号線を大江の信号で左折して「さかぐち電気」を右折して瀬田駅前を通り大萱1丁目広場に参加者全員がフイチマップしました。

琵琶湖一周のウォーキングは琵琶湖の形や歩くコースは同じですが季節や日々違う風景を見られる楽しさは琵琶湖を歩かないと見られないと県外だけでなく県内のウォーカーの方々も満足されていました。

また今回は滋賀県交通政策課の芝さん小林さんも完歩されウォークの楽しさを実感して頂きました。

(二つの提言)

- ☆服装が、革靴、普通のスニーカー、手提げ鞆であまりにもウォークとかけ離れ旅行気分でも不愉快に感じられたとの指摘。
- ☆平気でタバコのぼい捨てがあったとの指摘

お互いに考えよう

びわ湖パノラマ

ウォークを終えて

本部 久保 久一

去る11月24日(土)、25日(日)の両日、びわ湖(南湖)と古都大津の観光スポットを舞台に繰り広げられた今回のウォーキングは、その名の通り広大にして意欲的な想い出に残る楽しいものでした。

また、この成り立ちも官、学、民が一体となり地域に根ざした構成で各関係団体と県と市のウォーキング協会が話し合いを重ねながら協力し進められたことも今までになかった貴重なものでした。

1日目のおごと温泉・比叡山ウォークの出発式は人数小規模なれどもJWAより宮下充正会長や岐阜県会長の居並ぶ豪華な式典でした。

参加者は4才の岡田君家族ほか4人の親子連れや学生さんなど若男女55人が県と市の混成スタッフのリーダーで楽しく実施しました。

2日目のウォーク&遊覧船の20キ

初め的一步ウォーキングに参加して

指導者会 岩田 春美

10月13日(土)、11月17日(土)両日初め的一步ウォーキングが北びわ湖周遊フォーラム主催で開催されました。

Aコース…びわ湖の湖岸と秀吉の城下町、黒壁スクエアを歩く行程で滋賀県ウォーキング協会のリーダーの下、田村駅西口から琵琶湖岸を経て豊公園で昼食をとり午後から長浜観光ボランティアガイドの案内で長浜城歴史博物館を見学。豊国神社から大通寺を経て戦国大河ながはま館から黒壁スクエア自由策。

Bコース…琵琶湖岸と「江」のふるさとや小谷城跡を歩く行程で昼食後は先のガイドが戦国バスに乗、戦国ガイドステーションから大河ドラマのロケ地・小谷城跡散策の2コースに分かれて歩行しました。10月13日は好天にめぐまれ参加者もAコース12名、Bコース9名と秋の長浜路を楽しみました。

参加指導者は久保、池上、池嶋、松浦、岩田が靴の履き方、体操、レクチュア、モデルウォーキング歩行サポート、クールダウン、歩行測定などを行いました。

11月17日は、朝から悪天候で申込数より参加者は大幅に減り、当日参加者6名でしかも午後からの小谷城跡コースは雨のため中止となり、さんざんな1日でしたが、参加されたウォーカーの皆さんは熱心に受講され無事に今年の「初め的一步ウォーキング」を終えることが出来ました。

当協会々員の皆さんも是非指導者の資格を取得して戴きあとに続かれる、ウォーカーを

指導する仲間に参加願います。

キコースは参加者20数名なれど、ピリットしたメンバで、乗船時間の関係で少し忙しなかったとのリーダーの話もありましたが全員無事笑顔一杯でフィッシュされました。2日目の43キコース50名以上全員が7キ、6キ前後で歩くと云う見事な健脚ぶりでしたが、それらのつわものなかにも30キ過ぎてからは、きつかったと漏らす方もありましたが全員無事のフィッシュ全員に大拍手を贈らせて頂きます。

そして忘れてならないのはびわ湖成蹊スポーツ大学の学生さんや近畿日本ツーリストなど6台の支援や早朝より秋冷えの夕暮れまで関係者皆の「苦勞」です。

ふり返れば不十分や失敗もあったと思われませんが地域の活性化の一助にとの達成感もあり、この体験が今後繋がることを願います。

わが奮闘忘備録とします。

ご礼状のご紹介

この度の滋賀県ウォーキング協会20周年記念の「お祝の礼状」が次の方々より頂きましたので、ご芳名を紹介させていただきます。(内容は次号で順次掲載。)

川合逸夫 様 ・ 因マサキ 様
林喜久松 様 ・ 吉尾千栄子 様